

2021年4月23日

CASE 特設ページにスペシャルムービーを公開

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は4月23日（金）、当社コーポレートサイト内に開設した「CASE¹」特設ページ内に、スペシャルムービーを公開しました。



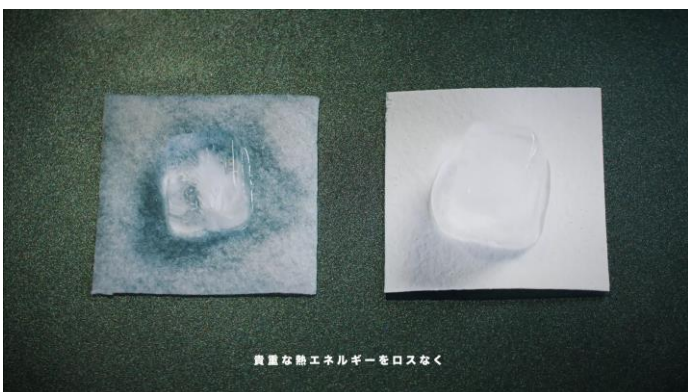
素材力とCASE対応を前面に打ち出したスペシャルムービーの1シーン

「素材を描き、未来を創る」と題し、自然と調和した新たなクルマ社会を目指して、技術・製品開発を推進する住友理工の取り組みにフォーカス。CASEの中でも特に、当社が長年培ってきたテクノロジーと親和性の高い「Autonomous：自動運転」と「Electric：電動化」に注力していること、さらにこれらの開発には、素材の力を最大限に発揮させるコアコンピタンス「高分子材料技術」を駆使していることなどをわかりやすく紹介しています。

※ ¹ 「C：Connected（つながる）」「A：Autonomous（自動運転）」「S：Shared & Services（シェアリング）」
「E：Electric（電動化）」



さらに独自素材によって
無響室で実車評価を行うシーン



当社製品（右）の断熱効率の高さを実証するシーン



防振ゴムの生産ラインでの撮影の様子

制作にあたっては、研究開発および生産のマザー拠点である小牧本社・製作所（愛知県小牧市）において、技術研究所「テクノピア」、開発を担う「テクニカルセンター」、世界トップシェアを誇る自動車用防振ゴムの製造工場を中心に撮影を行いました。高い精度や品質が求められる、緊張感漂う各現場の様子や、課題や困難に果敢に挑戦する従業員の真剣な眼差しなどをご覧いただければと思います。

次世代のモビリティ、そして新しい世界を切り開く、住友理工グループの取り組みにご注目ください。

<CASE 特設ページ「素材を描き、未来を創る。～Innovation by Materials～」>

URL : <https://www.sumitomoriko.co.jp/rd/strategy/>

以上

―― 住友理工について ――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>